令和５年度　地域医療構想における具体的対応方針

１．基本情報

病院名：旧稲田病院

医療圏：奈良

２．地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

（１）地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当会は、奈良東九条病院と旧稲田病院から承継した32床の新病院にて、東九条町・神殿町を中心とする地域（当会1次医療圏）の医療・福祉・介護の包括的なネットワークのコアとしての役割を担って参ります。
旧稲田病院を継承する新病院（以下「新病院」という）は、奈良東九条病院と連携し慢性期の病院としての役割を果たして参ります。

（２）自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

新病院は、当会1次医療圏に増加している「独居・高齢者・自立生活が困難な医療を必要とする患者様」を対応する病院として、地域医療での役割を果たして参ります。

（３）（２）を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようにご説明ください。

当会は、奈良東九条病院をコアとして、住宅型有料老人ホーム、介護施設、診療所、薬局等と協働し、ライフサイクルに合わせた医療、福祉、介護が提供できる「医療福祉介護エリア」を作ってまいります。このため、１次医療圏にある各施設の皆様に協力をお願いして参ります。
新病院は、この中で、（２）の役割を果たす役割を持ち、地域における在宅医療での増悪や長期的治療の必要な患者様を受け持つ病院として、地域に貢献して参りたいと考えています。

３．地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※「（２）地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について」を踏まえた具体的な計画について記載してください
※「（３）」では選択肢によって条件設定を行い、回答内容によりそれ以降の問いに対し、システム上回答不要としている部分があります。この条件設定に不都合がある場合（回答することが適しているが選択できない場合など）は「４．その他」へ回答を打ち込んでください。

（１）機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙１－２「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。
※R5年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び別紙様式「急性期機能の細分化の報告」の数値を記入してください。
※ 用語の定義は、病床機能報告と同様です。
※最大使用病床数は１年間（R4.4.1～R5.3.31）に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

（床）

			H28年度	R5年度			（b）将来	（b-a）
			（a）許可病床数	許可病床数	最大使用病床数		R7年度	H28年度からの増減
一般病床・療養病床	高度急性期							
	急性期	重症						
		軽症	32					−32
	回復期							
	慢性期						32	32
	休棟中（今後再開する予定）			32		→		
	休棟中（今後廃止する予定）							
	合計		32	32			32	
精神病床								
結核病床								
感染症病床								
介護医療院								